

## 光明丹

光明丹は、鉛丹とも呼ばれる四三酸化鉛（ $Pb_3O_4$ ）で鉛化合物の中では、比較的毒素の低い化合物で、日本では

平成12年度使用量 5,612 トン

平成13年度使用量 4,444 トン

平成14年度使用量 4,532 トン

使用されている商品です。

鉛丹の主たる用途は、（平成14年度）

塗料：堅練ペイント、錆止めペイント用 27.2%  
文化財建造物修理用、絵の具

ガラス：蛍光灯、真空管、ブラウン管等の放射線防止剤 8.9%  
（管球・光学・一般） レンズ、クリスタルガラス、体温計ガラス用

電子材： 25.0%

蓄電池：極板用 12.0%

陶磁器・珐瑯：上薬 18.7%

以上が光明丹の主な用途ですが、この場合 特殊な使用方法が必要となります。

その他として防錆、防腐、極圧、焼き付き防止効果が有る為、約 8.2%が、すり合わせ・あたり面のテスト等の工業用として用いられております。

すり合わせテスト等に用いる場合は鉱物油（タービン油等）と金属石鹼基を含む油で練る事により使用できます。又 伸びを良くする為に、植物油を混ぜると伸びは良くなりますが、こびりつきの原因ともなりますので注意をしてください。

尚、すり合わせ・あたり面テスト用としては光明丹以外の顔料を使用した練状、チューブ入りのレッドペーストEや重金属を含まない顔料を使用したレッドペーストHもあります。